

協働事業報告書

事業の名称	さくらやまなみバスに乗って北部の町にしたしむスタンプラリー		
団体名・氏名	さくらやまなみバスに乗って北部の町にしたしむスタンプラリー実行委員会	関係課(G)名	都市計画グループ
事業費	134,229 円	市の負担額	100,000 円

事業の目的及び内容	(目的) さくらやまなみバスが開通して1年数カ月が経過。新路線が5年、10年と持続して走ることを願っていますが、現状は乗客(収支)の伸び悩みが課題とされています。同バスの啓発と利用促進、南部住民の方に北部地域に親しんでいただく目的で行います。	
	(内容) 出発にあたっては「さくらやまなみバスの現状」「暮らしにバスを」など市、専門家よりお話をいただきました。その後、さくらやまなみバスに乗って、山口、船坂地区に行き、名所、旧跡を訪ねるスタンプラリーを実施。	
	(市民活動団体等の役割) 企画、実施運営全般を担当。	(市の役割) 経済的支援と広報活動全般

	市民活動団体等	市
協働事業の成果・効果	11月3日の実施に向けて、広報を積極的に行った結果、応募は118名となり、1割増の55名に参加証を発送。 当日運営はボランティアガイドを中心に19名が運営にあたりました。当日は天候に恵まれて参加者には喜ばれましたが、当日の欠席者(22名)は想定以上となり残念でした。 さくらやまなみバスのキャンペーンとしては当初の効果をあげたものと思われます。	市施設(公民館等)へのチラシ配布(約4,000枚)、さくらやまなみバスHP・市政ニュース(9/25号)への掲載、さくらFM(「アットホームにしのみや」9/28(火)、29(水))・ケーブルテレビ(「フロムにしのみや」10/4(月)~10(日))での放送など、多岐にわたる媒体を用いて広報を実施。電話での問合せも数多くあり、反響は大きかったと思われる。沿線の見所紹介する良い機会となり、今後の利用促進に繋がるものと考えます。
課題	スタンプラリーのポイント案内に人手、工夫が足りなかった点。 参加者の歩留まりをどの程度を読むのか、それをたかめるための工夫を企画の中に入れるのが課題となりました。	スタンプラリーのエリア(山口・船坂)が広範囲であるにもかかわらず、参加者に割り当てられた時間が少なかった。もう少しスケジュールに余裕が必要である。

注1 事業実施が確認できる資料(写真、新聞記事、作成したチラシ、パンフレット等)を添付してください。

注2 事業の成果・効果欄には来場者数、実施日数等の数値に表れる実績の記載をお願いします。

注3 印の箇所は関係課(G)で記入します。

自 己 評 価 書 (都 市 計 画 G)

事業の名称	さくらやまなみバスに乗って北部の町にしたしむスタンプラリー	
団体名・氏名 関係課(G)	さくらやまなみバスに乗って北部の町にしたしむスタンプラリー実行委員会 都市計画グループ	
自己評価欄 (該当する選択肢に をつけてください。)		
1. 計画どおりに 実施できたか	1. できた	主な理由 (左記で 3, 4 を回答した場合に記入)
	2. 概ねできた	
3. あまりできなかった		
4. ほとんどできなかった		
2. 事業実施によ り期待した成果を 上げることができ たか	1. 期待どおり	主な理由 (左記で 3, 4 を回答した場合に記入)
	2. 概ね期待どおり	
3. あまりなかった		
4. ほとんどなかった		
3. 協働で事業実 施した効果はあっ たか	1. 非常にあった	主な理由 当日に実施したアンケートにより、イベントに対 する感想について「楽しかった」との回答が 100% (有効回答に対して)であったことから、一定の 効果はあったと考える。参加者の大半が、普段バ スを利用しておらず、今回のイベントを通じて、 バスを利用した移動を見直してもらえたのでは ないか。
	2. あった	
3. あまりなかった		
4. ほとんどなかった		
4. その他、評価 すべき点、反省す べき点	<p><評価すべき点></p> <p>さくらやまなみバスにターゲットを絞ったイベントであり、多岐にわたる広報・PRにより、参加者だけでなく、それ以外の幅広い年齢層にもさくらやまなみバスについて知ってもらう良い機会になったのではないかと。</p> <p><反省すべき点></p> <p>実施日が祝日で便数が少なく、かつ秋の行楽シーズンと重なっていたため、利用できる便に限りがあり、各個人でのエリア間の自由な移動ができなかったのは残念である。</p>	

自 己 評 価 書 (スタンプラリー実行委員会)

事業の名称	さくらやまなみバスに乗って北部の町にしたしむスタンプラリー	
団体名・氏名 関係課(G)	さくらやまなみバスに乗って北部の町にしたしむスタンプラリー実行委員会 都市計画グループ	
自己評価欄 (該当する選択肢に をつけてください。)		
1. 計画どおりに 実施できたか	1. できた	主な理由 (左記で3, 4を回答した場合に記入)
	2. 概ねできた	
3. あまりできなかった		
4. ほとんどできなかった		
2. 事業実施によ り期待した成果を 上げることができ たか	1. 期待どおり	主な理由 (左記で3, 4を回答した場合に記入)
	2. 概ね期待どおり	
3. あまりなかった		
4. ほとんどなかった		
3. 協働で事業実 施した効果はあっ たか	1. 非常にあった	主な理由 さくらやまなみバスをはじめとした市内のバス交通、交通まちづくりを市民と協働して行う観点から効果はあったと考えます。
	2. あった	
3. あまりなかった		
4. ほとんどなかった		
4. その他、評価すべき点、反省すべき点	<p>「西宮市内のバス問題を考える会」が当イベントの提案を行い、実行委員会を立ち上げて実施することを受け入れていただいたこと事態を大きく評価しています。さくらやまなみバスの現状と将来において、当局と地元が解決策をどのように見出すとよいのか模索をされている中に「会」が割り込んだかたちになっているかも知れません。</p> <p>イベントを終えて、西宮の“交通まちづくり”に「会」なりに力を尽くすことが必要だと考えています。</p>	